

銃器使用犯罪への対処法

1 南アフリカの犯罪傾向

南アフリカの犯罪傾向として、多くの犯罪において銃器が使用される、抵抗された場合発砲して危害を加えることをいとわない、昼夜問わず犯罪が発生しているなど、本邦とは全く異なる治安状況があります。強盗などの凶悪犯罪からひったくりなどの身近な犯罪に至るまで、犯人は銃器を所持していることが多いのが特徴です。

2 近年よく見られる銃器使用事件の手口

(1) ショッピングモール所在宝石店などの店舗対象強盗事件

邦人が訪れるような大型ショッピングモール内の宝石店などに、複数名の犯人が自動小銃などの大型銃器を所持して襲撃し宝石や貴金属を強奪する事件が多く発生しています。被害者や居合わせた人物の抵抗があった場合躊躇無く発砲し、駆けつけた警備員や警察との間で銃撃戦となる場合もあり、死傷者が発生したケースもあります。

宝石店が襲撃されることが多いものの、スマートフォンやパソコンなどの高額な電子機器を取り扱う店舗、また、雑貨衣料品店など高額商品を扱っていない店舗までも標的となっています。

(2) 現金輸送車等強盗

走行中の現金輸送車を複数の車に分乗した犯人らが襲撃し、自動小銃などの大型銃器で銃撃した上、輸送車の堅牢なドアを爆破して開放の上現金を強奪する事件、店舗やATM機から回収した現金を搬送中の警備員を銃器で脅し或いは銃撃して現金を強奪する事件などが多発しています。

また、スマートフォンやパソコンなどの高額商品を配送中の車両を銃撃して商品を強奪する、クーリエ強盗と呼ばれる事件も多発しています。

これらの事件は、白昼、付近を一般車両が走行中であってもかまわず銃撃する凶悪なもので、現金搬送中の警備員と犯人が店舗内で銃撃戦となり、買い物客が巻き込まれて流れ弾に当たったケースもあります。

(3) 追尾強盗

車で帰宅する被害者を家まで追尾し、家のゲート前で停車した時や敷地内に入ったところで襲撃し、銃器で脅して所持品や荷物を強奪する追尾強盗が多発しています。

空港から帰宅する人、高額商品を購入した人、高額現金を出金した人、高級時計や貴金属を身につけている人などを標的にし、空港やショッピングモールなどで標的を選定し家まで追尾し、帰宅した被害者の車のすぐ後ろに車を止め、複数名の犯人が車から降りてきて銃器を突きつけるなどして脅し強盗を敢行します。被害者が抵抗した場合、発砲して金員を強奪するケースも多く聞かれています。

(4) スマートフォンを標的にした強盗事件

当地において、スマートフォンは高値で転売されるため犯罪の格好の標的となっています。レス

トランのオープンテラス席の卓上にスマートフォンを置いて飲食していたところ奪われた、手に所持して通行していたところ奪われた、路上で Uber の到着状況を確認していたところ奪われたといった事件が多発しています。

犯人らは複数名のグループで敢行し、奪う係、逃走用の車を運転する係、抵抗された際に銃撃する係など任務分担を行っています。週末に、多くの人で賑わう人気の飲食店街で、レストラン前で入店を待っていた客が、手に所持していたスマートフォンを奪われそうになり抵抗したところ、銃数発発砲され重傷を負う事件が実際に発生しています。

3 銃器使用犯罪等への対処法

- (1) ショッピングモールなどにおいて強盗事件現場などで銃器が使用されている場合（発砲があった場合）、①現場からすぐに離れることを優先し、そのいとまが無い場合やその場から動くと身に危険が及ぶ可能性がある場合は、②床に伏せる、壁や階段下など死角になる場所に身を隠すなどし、標的にならないようにしてください。
- (2) 車で移動中、襲撃事件に遭遇した場合、①現場からすぐ離れることを優先し、渋滞などで車が動かせない場合は、②窓より下に身を伏せるなどして標的にならないようにしてください。なお、エンジンが一番堅牢であるため、エンジンを盾にする形で身を伏せることができれば、その様に行ってください。
- (3) 追尾強盗対策としては、空港、高額商品購入後、高額現金を出金した後は特に追尾強盗の可能性あることを念頭に、追尾がないかバックミラーなどを随時確認しつつ、帰宅約5分前からは最大限に警戒をし、周辺、特に後方に不審車（者）がないか確認してください。追尾の可能性ある場合、帰宅せずに自宅を通過し、警察署や警備員のいるショッピングモールなど安全が確保できる場所に避難してください。
- (4) 公共の場所でスマートフォンを手に持って移動する、Uber などの到着状況を確認するなど周囲に見える形で携行しない、レストランのテーブルの上に置かない、特に路面に面したオープンテラス席は狙われやすいため席の選定を注意する、公共の場所で通話が必要な場合は、その場に応じて狙われにくい適切な場所に移動し、周囲の状況に警戒しつつ利用するなどの対策を講じてください。

また、Uberが到着した際、自分が予約したUberだと主張する人物が現れ、アプリで予約内容を確認するよう仕向けスマートフォンをひったくる手口がある事を念頭に、Uber到着時に見知らぬ人物に話しかけられた時は、スマートフォンを取り出さないなど所持品の保管にも注意が必要です。

- (5) 各手口に共通することは、被害にあった場合、①抵抗しない、②犯人の要求に応じる、③犯人らの顔を直視しない、④命令や要求以上の行動をしないことが重要です。先を見越して財布を自ら差し出すなどの行動は、武器を取り出すと勘違いされ銃撃されるおそれがあります。また、言語の違いから犯人の言っていることが理解できない場合は、両手を挙げるなどして抵抗する意思はないことを示しつつ、犯人の身振りや周囲の人の動きから判断して行動す

ることが必要となります。命を守るため、抵抗しない事を最重要としてください。